

## 令和7年度 第3回雄武町地域公共交通活性化協議会 議事概要

### 1 開会 ～ 事務局長（大水公共交通対策室長）

定刻となりましたので、只今から「令和7年度第3回雄武町地域公共交通活性化協議会」を開催いたします。お忙しい中ご出席いただきまして大変ありがとうございます。私、協議会事務局の大水でございます。本会議の進行を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

### 2 委嘱状（辞令書）交付 ～ 事務局長（大水公共交通対策室長）

それでは早速ですが、会議次第の「2. 委嘱状交付」でございます。町長に代わりまして副町長から交付いたしますので、運輸支局の高松首席から順番にお受け取り願います。

※会長から各委員に委嘱状を交付

どうもありがとうございます。それではここで、会議に入る前に、本日、北海道運輸局の皆様にご臨席いただいておりますので、紹介させていただきます。

- ◆北海道運輸局 交通政策部 部長 妹尾 浩志さま
- ◆北海道運輸局 北見運輸支局 首席運輸企画専門官 高松 正繁さま（※委員）
- ◆北海道運輸局 交通政策部 交通企画課 企画第二係長 上野 真幸さま
- ◆北海道運輸局 北見運輸支局 運輸企画専門官 戸谷 優一さま

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

それでは会議次第の「3. 会長挨拶」でございます。

### 3 会長あいさつ ～ 新谷会長（副町長）

副町長の新谷でございます。町条例に基づきまして、本協議会の会長という取り決めとなっておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、時節柄大変お忙しい中、町内外から本会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。またこの度は、任期満了に伴う委員委嘱に際しまして、ご推薦・ご承諾を賜りましたことに対しましても重ねて御礼申し上げます。

また、アドバイザーの為国先生にも、引き続きご指導・ご助言をいただけるということで大変ありがとうございます。加えまして、北海道運輸局の妹尾(せのお)部長様ほか皆様にもご臨席いただきましたこと、心から感謝申し上げます。

さて、一昨年（2021年）10月18日に本協議会が設立となりまして、以来、委員皆様のご協力によりまして、本年3月末に「雄武町地域公共交通計画」を策定し、「コミュニティバスの運

行」や「路線バスの無料乗車助成事業」など、新たな施策に着手したところでございます。コミュニティバスにつきましては、後ほど事務局から説明があると思いますが、年間利用者数の目標人数「延べ1,880人」に対しまして、本年4月から9月末までの半年間で「延べ1,612人」の利用実績となっており、まずは好調な滑り出しとなっておりますが、他の施策も含めまして、さらに利用者の増加を図っていくことが重要であると思っております。委員の皆様には引き続き、お力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお本日の議題は、協議事項5件となっております。皆様方にはスムーズな議事進行と、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。

### 3 議事

#### 協議事項

##### (1) 副会長の指名について

配布資料（資料1）に基づき、事務局（大水公共交通対策室長）から説明

質疑応答～質疑なし 協議事項(2)～承認

##### (2) 監事の指名について

配布資料（資料2）に基づき、事務局長（大水公共交通対策室長）から説明

質疑応答～質疑なし 協議事項(2)～承認

##### (3) 令和7年度事業計画（案）について

配布資料（資料3）に基づき、事務局（大水公共交通対策室長）から説明

#### 【質疑応答】

委員「コミュニティバスは浜の方まで降りてきてもらっているようで、きめ細やかなサービスをしてもらっている。今日こんなに乗っていただくと数字を見てびっくりしている。改めてニーズを感じた。」

会長「ありがとうございます。きめ細やかなサービスという部分は私どもも課題として捉えておまして、浜の方や山側の農家さんの家をどうするのか課題として持っております。計画はスタートしたばかりでして、今後は状況を見ながら計画の変更や新たな施策を考えていきたいと思っております。」

委員「うちの奥の方にも頼んだら来てくれるようにしてもらいなと思います。」

会長「ありがとうございます。ハイヤー券の見直しをコミュニティバスの運行に併せて行っています。ただ、それだけでは不十分だという声も届いておりますので、今後の課題として検討していきたいと思っております。」

委員「行きはコミュニティバス、帰りは当社のバスというように使い分けてくれることで、ニーズにあった運行体系が構築されているのかなと思っております。併せて興浜南線ですけども、外国人の乗車が多いこともあり、昨年より微増の傾向にあります。」

委員「幌内や魚田の外国人が約10人弱朝乗って夕方帰ってくる。魚田は多いときは30人くらい乗ってくる。人数数えていてなかなか発車できない状況。また、外国人だからなのか、にぎやかです。日本人が乗っている場合も遠慮がないように見えるので、指導等ができるのであれば、していただければと思います。」

会長「ありがとうございます。イメージがすごくわかります。人数のカウントも含めて運転手さんには非常にご苦労というかお仕事が増えて大変かもしれませんけども、引き続きお願いしますとともにマナー対策については、多くの外国人が加工場で働いている状況にありますので、周知もできますし、初めて雄武に来られた方にはごみの分別や交通マナーなど研修を行う機会もありますので、そういった中でバスの乗り方なども向上に努めてまいりたいと思います。」

委員「ちょっと愚痴っぽくなるんですけど、コミュニティバスに乗る人が増えた分、ハイヤーのお客が明らかに減っているんですね。でも魚田や幌内、沢木はここから見たら長距離となるお客さんはとても喜んでいきます。町バスや北紋バス、宗谷バスで市街地区に来たお客さんが帰りはハイヤーに乗っていただけたりしている。ただ、市街地区以外の方は大体ハイヤー券がなくなっている。現金で乗るというお客さんがほとんどです。町バスは右肩上がりで増えています。だから乗務員も喜んでおります。」

会長「ありがとうございます。運行を始めてから半年以上が経ちましたが、苦情なんかは事務局には届いていない状況と聞いております。第一ハイヤーさんに関しましては、この協議会の承認を得た中で車両の購入助成、それから二種免許の取得

費助成といった取り組みを進めており、1名の運転手確保につながっております。ハイヤー会社も公共交通の1つという位置づけで考えておりますので、引き続き、ご協力いただければという考えでございます。

協議事項(3)～承認

#### (4) 令和7年度収支予算(案)について

配布資料(資料4)に基づき、事務局長(大水公共交通対策室長)から説明

質疑応答～質疑なし 協議事項(4)～承認

#### (5) その他・意見交換等

それでは協議事項の最後になります。「(5) その他・意見交換等」についてであります。まず、事務局から何かございますか。

大水事務局長「特にありませんが、本日、為国先生にご出席いただいておりますので、当協議会のこれまでの取り組みに対する感想や評価であるとか、今後の課題、どのようなことに留意して取り組みを進めていけばよいのかといったことについて、アドバイスをいただきたいと思っております。」

為国アドバイザー「今とてもいいスタートが切れてますけども、これ計画作る前の時に皆様方から色々お聞きしながら、調整していったというのが大きいですね。それでもまさか幌内方面がこれだけ乗っていただけるっていうのが、予想していなかった。今はどの地域でも走らせても中々乗ってくれないんですよ。そんな中で、雄武町はすごく上手くいっているんですよ。だけど、これからますます足がなくなっちゃったっていう人が増えてきますので、その人たちの足をどこまで用意しなければならないっていうのは、福祉の面もあるもんですから、ちょっと検討していかなければならないのかなって思ってます。そういう意味では今年度の決算や事業報告の時にはコミュニティバスの収支、北紋バスさんや宗谷バスさんに協力してもらっている助成事業の町が負担している部分だとかも協議会で皆さんが共通認識持った方がいいと思います。雄武町がどれだけお金が出して、そのお金でどれだけの人たちに効果を出せて

いるのかという見方もした方がいいと思います。

今、国の方で交通空白解消するんだって言って、皆さん頑張ってやっていますけども、私の中では空白には理由があるんですね。交通空白地なんて言ったら、雄武町は交通空白地だらけ。だけどそこには人が住んでいない。だけど交通空白地解消しましょうなんて言ったら、デマンドの区域運行を走らせればいいで終わってしまう。だから、私が言ってるのは、交通空白地ではなく交通空白時間帯です。宗谷バスさんは朝と夕方しか走っていない、だからそこに4便入れるんですね。沢木方面は北紋バスさんが走ってる。その間にうまく2便入れているんです。そうすると町民の皆さんからすると、移動する手段が増える。だから時間に自由度が増えることになる。

今雄武町はうまく機能していますけども、まだちょっと色々な所と連携する必要があるという感じがしていますので、それが次の課題になるだろうと。それと農家地区の方面はコミュニティバスを走らせてない。ただ、コミュニティバスを走らせる前に話伺いに行った時には、うちはいらなないんだと言われた。だから一旦ちょっと置いといた。本当はハイヤーを利用してもらおうと思っていた。でもニーズが多くないからこそ、マッチングするような移動サービスを考えていくっていうのが、必要と思っています。

今のところは上手くいっているので、今後も運輸局と相談しながら、取り組みを継続していければと思いますし、別の振興局をつなぐ広域の路線も持っていますから、なんとか残していくサポートを雄武町として知恵を絞っていけたらなと思います。

委員「振興局では広域のバス路線の補助や路線の最適化などをさせていただいております。今年度やっていきたいもので言いますと、紋別から雄武に走っている路線について、今後どうしていくかという調査ですとか、関係市町村とバス会社さんなどで話し合いの場を設けていく予定です。何か動きがありましたら、来年度以降になると思いますが、報告させていただきますので、よろしく願います。」

#### **4 その他 ～ 事務局長（公共交通対策室長）**

会議次第の「5. その他」でございますが、北海道運輸局さん（あるいは北見運輸支局さん）から情報提供ということでよろしく申し上げます。

北海道運輸局から他市町村の取り組みなど事例紹介

#### **5 閉会 ～ 新谷会長（副町長）**

閉会にあたり、ひと言ご挨拶申し上げます。

本日は、令和7年度第3回協議会ということで、役員の指名、事業計画（案）及び収支予算（案）についてご決定いただき、また、委員の皆様、為国先生、運輸局さんからご意見やコメントをいただきまして、誠にありがとうございました。

本日いろいろと説明させていただいたとおり、コミバス等の事業が動き出して半年が経過したばかりでございますが、これらを長く継続していくことはもちろんのこと、町民の皆様にとって、さらに利便性の高い公共交通の実現をめざしていくことが重要であると思っております。

町の立場といたしましても必要な予算の確保に努めてまいりますので、引き続き、委員の皆様方にはご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。閉会の挨拶といたします。

本日はありがとうございました。